

## ★「困難を乗り越える力」をつけよう！

富丘連合町内会 会長 久瀧洲 一

新型コロナウイルスの未曾有の災禍から、一年が経過しました。感染者の急増によって「緊急事態宣言」が発出され、北海道・札幌市からは感染拡大防止のための地域活動の見直し要請が、富丘連合町内会や各町内会などへもありました。総会・催事・各種会合・親睦会等における飲食の自粛、アルコール類の提供禁止、外出時や公共の場でのマスクの着用、手洗い消毒の励行、三密を回避するなど、それぞれ一生懸命に対策し、実践してきました。しかし、感染者数は若干下降気味とはいえ収束の兆しが不透明である状況に変わりはありません。



間近に、令和3年度の総会および役員改選等の重要案件が控えており、どのような方法で実施するのが一番良いのか、連合町内会事務局と理事の方々と協議し、決定したいと考えています。

私たちに今求められているのは、従来のコミュニティ活動を超えた“新しい地域社会のあり方”です。今回のCOVID19（新型コロナウイルス感染症の正式な名称）によるパンデミックのみならず、地球温暖化を食い止めるカーボンフリー（脱炭素社会）の実現、また2030年までに持続可能な開発目標を達成するなど、さまざまな課題が目白押しです。もしこれらが未達成の場合は、世界的な飢餓パンデミックなど私たちの生命維持に関わることが起きると、憂慮されています（飽食の先進国も同様のこと）。私たちにこうしたことに臆せず勇気をもって挑戦し、克服することが求められます。すなわち、“レジリアンス＝困難を克服する力”を養うことが重要ともいわれています。この力は、行政や政治ではできません。地域社会の活動を通して養うことができます。なぜならこの問題は、市民一人ひとりの日々の暮らし方に関わるからです。

“TEAM ONE TOMIOKA”で困難を乗り越え、令和3年が皆さまにとって充実した一年となることを願っております。

★★★★★

## 【トピックス】 令和2年度「札幌市防災表彰」を受けました！

富丘連合町内会では毎年、地域の防災力および防災意識を向上させようと、富丘地区の小学校・中学校を会場に「避難所運営訓練」を実施し、これには毎回約100人の住民が参加してきました（令和2年度はCOVID19感染拡大のため開催断念）。

こうした活動が、札幌市から「自主防災の強化のために率先して尽し、市民の模範となる活動である」と認められ、またその功績は顕著であるということから、このたび、令和2年度の『札幌市防災表彰』



「札幌市防災表彰」表彰式（1/29）

の表彰団体として決定されました。全市で12団体、うち手稲区では1団体です。

表彰式は、令和3年1月29日（金）午前10時から手稲区役所区長室で行われ、これには富丘連合町内会の久瀧洲一会長、佐藤八洲男副会長、齋藤克史事務局長、富丘西宮の沢まちづくりセンターの山岸範生所長が出席して、田中俊成区長より表彰状が授与されました。

## ■連絡1 令和3年度までの暫定的な業務担当について…

富丘連合町内会では、会計部長の任期途中の逝去に伴い、令和3年度の役員改選までの暫定措置として、次のとおり業務担当を決めました。事務局担当＝白井浩二さん（西一町内会：理事）、会計担当＝今井武彦さん（東一町内会：理事）、同＝高山幸子さん（東一町内会：新任理事）。よろしくお願ひいたします。なお、金銭出納に関する決済は、齋藤克史事務局長が代行します。〈令和3年2月15日付〉

また、富丘西宮の沢連合町内会連絡協議会、富丘西宮の沢まちづくり協議会、富丘西宮の沢地区社会福祉協議会に係る出納決済も、同事務局長が代行します。〈令和3年2月22日付〉

## ■連絡2 令和3年度事業計画および予算計画について…

2月8日と15日の二日間にわたり、富丘連合町内会では、会長・副会長・事務局長と各部の常任委員との間で令和3年度の事業計画等についての意見交換を行いました。

その結果、理事会は椅子だけであれば集合型による開催が可能ではないのか、総会は参加人数を考慮すると集合型開催ができるかどうか疑問である、などの意見が出され、更に検討することとなりました。令和3年度の事業についても、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更することもありえるとの認識を確認しました。

## ■連絡3 富丘西宮の沢会館の利用制限の追加事項…

富丘西宮の沢会館運営委員会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、アルコール飲料を供しない場合であっても、会館内における飲食すべての自粛を決定しました。ただし、体調維持のための水分補給は可とします。〈令和3年1月25日から実施〉



イラスト:札幌市HPより

## ■連絡4 催事中止に伴う町内会・自治会における予算執行計画の見直し状況…

西宮の沢連合町内会に所属する追分町内会の総務関係者から富丘連合町内会へ、「コロナ禍の影響でイベント等の事業が中止となったことにより、当初予算の見直しを行った町内会もあったのではないかと参考資料を提供してほしい」旨の依頼がありました。当連合町内会で確認できた事柄から、各町内会・自治会の取り組みの一例をご紹介します。①ごみステーション器材の更新、②防災用器具の補充、③会員世帯へのごみ袋の配付、④感染症予防対策事業として会員世帯へマスクなどを配付、⑤パートナーシップ除排雪費の徴収中止、⑥特別予算に計上、⑦次年度へ繰り越し。



## 新一年生に贈呈する「交通安全グッズ」を製作

富丘交通安全母の会（吉田佳寿子会長）では、毎年、手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」の反射材に交通安全標語を加えたストラップを“お守り”として作り、富丘小学校へ贈呈しています。

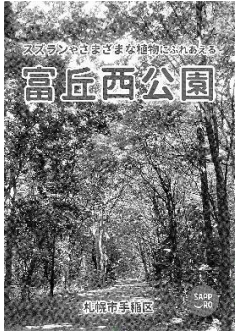


「交通安全グッズ」づくり (2/26)

今年も、2月26日（金）午前10時から富丘西宮の沢会館に交通安全母の会のメンバー6名が集い、令和3年度に入学する新一年生の交通安全を願って、130個製作しました。

交通安全グッズは3月末までに富丘小学校に届けられ、新一年生に渡してもらうこととなっています。

# もうすぐ春です！散歩に出かけませんか…



「富丘西公園」リーフレット

COVID19の感染拡大による外出自粛に伴い、運動不足やストレスなどの健康不安がささやかれています。そんなときには、手稲の豊かな自然の中へ出かけてみませんか。気持ちが癒され、免疫力の向上にもつながります。富丘地区内の特徴ある公園・緑地をいくつかご紹介しましょう。さあ、春はもうすぐです！

## ❖「富丘西公園」〈富丘4～5条5丁目 51,280㎡〉

樹林地と日当たりのよい草原があり、札幌市のシンボルフラワー「スズラン」の群生が市内で唯一見られます！ ナニワズやキクザキイチゲに始まり、5月にはエゾヤマザクラ・カスミザクラ・ミヤマザクラ・シウリザクラなどの多様なサクラ、夏にはオオウバユリ・オカトラノオ・ツリガネニンジン、秋にはミズナラ・カシワ・クリの実と、季節ごとに貴重な植物が観察できます。トイレ・水飲み台・あずまや・ベンチ・遊具など設置。スズランの保全活動を「富丘丸山町内会」の有志などが手稲区と協働で行っており、区土木部公園維持課（☎011-681-4011）では『スズランやさまざまな植物にふれあえる — 富丘西公園』のリーフレットも配布しています。保全活動の詳細を含め、お問い合わせは同課まで。

## ❖「富丘南公園」〈富丘5条3丁目 19,770㎡〉

高速道路下の公園。ハクウンボクやアカナラなどの公園樹のほか、手稲山麓の手つかずの自然林も…。トイレ・ベンチ・遊具あり。

## ❖「富丘三樽別公園」〈富丘1条5丁目 13,500㎡〉

野球場・テニスコート・トイレ・ベンチ・水飲み台・遊具など施設が充実しています。隣接する三樽別川にはヤマメやウグイなどが生息し、秋にはサクラマスの遡上も。ダイサギ、アオサギ、マガモなど大型の野鳥も水辺によく訪れます。

## ❖「富丘東公園」〈富丘1条3丁目 11,149㎡〉

中の川と富丘川のあいだに位置する公園。広い芝生と築山があり、トイレ・ベンチ・水飲み台・遊具設置。八重桜がたくさん。富丘川では、マガモも見られます。

## ❖「富丘ふくろう公園」〈富丘1条6丁目 1,532㎡〉

富丘小学校の西側にあり、手稲の語源とされるアイヌ語の「テイネ・イ」（＝ぬれているところ）の痕跡が残されています。ミズバショウ、オオバナノエンレイソウ、バイケイソウ、ヤチダモなどの湿生植物が観察できます。ベンチ・水飲み台のみ設置。

## ❖「中の川緑地」〈富丘～前田～新発寒～西宮の沢 126,001㎡〉

「中の川桜づつみ」として、地域イベントでもお馴染みの河畔路です。エゾヤマザクラやチシマザクラから八重桜（複数の種類）まで、一カ月近く“お花見”が楽しめます。ハマナス・シモツケ・ツリバナなども。休憩は複数設けられたあずまやで。

## 【公園や緑地を散歩する際の注意点】

■体調がすぐれない場合は出かけない。■ゴミや空き缶は必ず持ち帰る。■飲料はできるだけマイ水筒を用意する。■タバコを吸わない。■2～3人で訪れるのがベスト。大集団とはしない。■公園内の植物は持ち帰らない。また踏み荒らさない。■犬はリードに繋ぎ、フンは持ち帰る。■野生動物（各種野鳥・エゾリス・キタキツネ等）が生息している場所ではエサを与えない。



ミズバショウ



ミヤマザクラ



スズラン



マガモ

〈編集後記〉 コロナ禍における社会経済活動の自粛によって、ほぼ全ての行事が中止となり、富丘連合町内会や関係団体の動向について紙面でお知らせすることが困難となってしまいました。しかし、多少地味ではありますが（？）「自主防災活動の継続」が札幌市から評価されたことは、今後の富丘地区の発展および各種活動を行っていくうえで自信につながるものかもしれません。来たる令和3年度は、新しい見方により、今まで以上のコミュニティ活動の価値を向上させたいものです。（IS）



# 「富丘連合町内会」町内会・自治会 区域図

